

科目番号	HA103				
科目名	野生鳥獣被害対策				
担当教員	尾崎 真也(森林大学専任教員) 尾畑 俊彦(森林動物研究センター) ほか				
科目区分	森林環境		人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	1年		授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数 2
授業時間数	15		コマ (30 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目	○		左の実務経験の内容	森林動物専門員	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—		左の実務経験の内容	—	
実務経験を活かした授業内容	兵庫県立森林動物研究センター所属の森林動物専門員から、集落策の点検や獣害に強い集落づくり等、兵庫県が進める野生鳥獣被害対策の実践を学ぶ。				

目的	鳥獣による農林業被害の現状と概要及び狩猟に関する基礎について学ぶ	
概要	ニホンジカ、イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル等の主要な課外鳥獣の生態及び農林業被害の現状と対策の概要、また狩猟に関する基礎について学ぶ	
キーワード	①鳥獣保護法等関係法令 ②地域の鳥獣被害対策 ③狩猟道具の種類と捕獲方法	
関連する科目		
到達目標		森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	○	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	発表50%、レポート15%、態度20%、出席15%	

授業計画	テーマ	講義内容
1	イントロダクション	鳥獣被害とは何か、その現状と対策は
2	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律	法令の概要と12次鳥獣保護管理事業計画の内容
3～5	兵庫県の野生動物の現状	クマ、シカ、サル、イノシシ、アライグマの生態、被害状況と対策
6～7	フィールドワーク (被害状況調査)	森林大学校周辺の森林や集落の被害状況と防除対策を調査する
8～11	生息地管理	野生動物共生林の視察
12～14	グループ討議	野生鳥獣被害対策に関するグループ討議
15	発表	討議結果の発表

テキスト	資料を配付
参考書	狩猟読本(大日本猟友会)、鳥獣保護法の解説(大成出版社)、野生鳥獣被害防止マニュアル(農林水産省編)
関連する資格	狩猟免許(わな)、樹木医補

備考	
----	--